

1. 経歴

1920年 櫻で有名な長野県伊那市高遠町の在に生まれる。  
長野県の諏訪中学（現清陵高校）、旧制第一高等学校理科乙類を経て  
1942年 東京帝国大学理学部化学科卒業  
東京電気（現東芝）に就職し、直ちに兵役に勤務 終戦後職場に復帰  
1949年 佐賀県小城石炭研究所に入所  
1952年 東邦大学理学部化学科勤務（助教授）  
1959年 理学博士（東京大学）、同年教授に昇格  
1961年から約1年間 米国ペンシルベニア州立大学の研究員  
1963年 東京理科大学工学部工業化学科勤務（教授）  
同大学退職 この間6年間同大学の常務理事も兼任

2. 学会活動

油化学会：編集委員長、理事、副会長、現名誉会員  
日本化学会：理事、日化誌編集委員長  
コロイド及び界面化学部会部会長  
色材協会：理事、編集委員長

3 著書・総説など

主なもの：コロイドの話（培風館刊）、界面活性剤の話（東京化学同人刊）、界面・コロイド化学の基礎（講談社刊）、界面電気現象（渡辺昌と共編、共立出版刊）、Electrical Phenomena at Interfaces(co-ed., A. Watanabe, Marcel Dekker Pub.)

以上（2012. 4. 20 記）

専門分野：コロイド・界面化学とその化学史